

2019年10月30日

各 位

会 社 名 恵 和 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 長 村 恵 氏
(コード番号：4251 東証市場第二部)
問 い 合 わ せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 石 田 憲 次
TEL. 03-5643-3783

(訂正) 「東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」の
一部訂正について

当社は、2019年10月30日に開示しました「東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」について訂正がありましたのでお知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

「2019年12月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部の記載に誤りがありましたので、訂正いたします。

2. 訂正の箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文を掲載し、訂正箇所は下線を付して表示いたします。

【訂正前】

2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月30日

上場会社名 恵和株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4251 URL https://www.keiwa.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長村 恵次
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理本部長 (氏名)石田 憲次 (TEL)03(5643)3780
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	7,415	—	524	—	518	—	378	—
2018年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 372百万円(—%) 2018年12月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2019年12月期第2四半期	円 銭 63.95	円 銭 —
2018年12月期第2四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2018年12月期第2四半期において、四半期連結財務諸表を作成していないため、2018年12月期第2四半期の数値及び2019年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2019年12月期第2四半期	百万円 13,997	百万円 3,424	% 24.4
2018年12月期	13,999	3,057	21.8

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 3,424 百万円 2018年12月期 一百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2018年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 1.00	円 銭 1.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,165	96.2	858	113.9	760	102.5	627	138.9	106.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年12月期 2 Q	5,920,000株	2018年12月期	5,920,000株
2019年12月期 2 Q	0株	2018年12月期	0株
2019年12月期 2 Q	5,920,000株	2018年12月期 2 Q	5,920,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当該資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。従って、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性もあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予測などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、米中貿易摩擦や中国の景気減速等により輸出や生産の一部に弱さがみられ、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況におきまして、当社グループは、積極的な高付加価値製品の販売促進活動を実施するとともに、生産性の向上にも努めました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は7,415百万円、営業利益は524百万円、経常利益は518百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は378百万円となりました。

なお、セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[光学シート事業]

米中貿易摩擦の影響は一部はあったものの、高付加価値製品のスマートフォンおよびノートブック向けの光拡散シートが堅調に推移いたしました。

その結果、売上高4,411百万円、セグメント利益1,105百万円となりました。

[機能製品事業]

製紙用産業包装資材については堅調に推移したものの、建築資材及び工程紙等産業資材の受注減となりました。

その結果、売上高3,003百万円、セグメント利益83百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

①資産、負債、純資産の状況

(資産の部)

資産合計は、現金及び預金が242百万円、投資有価証券が39百万円、それぞれ増加したものの、受取手形及び売掛金が678百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ2百万円減少し、13,997百万円となりました。

(負債の部)

負債合計は、支払手形及び買掛金が262百万円、未払法人税等が74百万円、それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ368百万円減少し、10,572百万円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、四半期純利益の計上により378百万円増加、その他有価証券評価差額金が26百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ366百万円増加し、3,424百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より242百万円増加し、1,893百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、1,005百万円の増加となりました。主な増加要因としては、税金等調整前当期純利益は518百万円、減価償却費458百万円、売上債権676百万円の減少があり、主な減少要因としては、仕入債務の減少額252百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、521百万円の減少となりました。

主な減少要因としては、投資有価証券の取得による支出5百万円、和歌山工場の機械等、有形固定資産の取得による支出513百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、234百万円の減少となりました。主な増加要因としては、長期借入による収入850百万円があり、主な減少要因としては、長期借入金の返済による支出1,059百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが属する高機能フィルム業界では、IoTやAIの活用、次世代通信規格の実用化によるエレクトロニクス化の流れが需要を大きく押し上げることが期待されております。

このような経営環境の中、当社グループは、顧客志向の高機能フィルムメーカーに徹することを基本方針とし、具体的な戦略として以下の3つを掲げております。

①ニッチ市場をターゲットに

技術要求が高く差別化ができるニッチ市場をターゲットにする

②高付加価値製品へのシフト

既存製品の改良や新製品開発によって限界利益の高い製品にシフトする

③マルチドメスティックマーケティングの推進

各国ごとの市場実態に対応したきめ細かいマーケティングを行う

当連結会計年度(2019年12月期)の業績見通しにつきましては、連結売上高百万円(前年同期比%減)、連結経常利益百万円(前年同期比%増)を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,650,955	1,893,899
受取手形及び売掛金	3,733,549	<u>3,054,866</u>
商品及び製品	904,725	1,207,917
原材料及び貯蔵品	465,930	374,429
その他	569,255	<u>324,250</u>
貸倒引当金	△806	△686
流動資産合計	7,323,608	6,854,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,618,419	3,606,512
機械装置及び運搬具（純額）	1,671,068	1,889,643
土地	540,526	539,179
建設仮勘定	64,032	33,820
その他（純額）	174,137	258,878
有形固定資産合計	6,068,185	6,328,033
無形固定資産	58,342	50,770
投資その他の資産		
投資有価証券	456,907	496,051
その他	161,021	<u>328,397</u>
貸倒引当金	△68,692	△60,815
投資その他の資産合計	549,237	<u>763,633</u>
固定資産合計	6,675,765	<u>7,142,438</u>
資産合計	13,999,374	<u>13,997,114</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,512,871	3,250,509
1年内返済予定の長期借入金	1,603,136	1,471,922
未払金	506,610	534,312
未払法人税等	182,888	<u>108,868</u>
製品保証引当金	94,648	62,910
賞与引当金	—	9,235
その他	277,145	417,238
流動負債合計	<u>6,177,301</u>	<u>5,854,996</u>
固定負債		
長期借入金	4,403,671	4,325,413
退職給付に係る負債	238,478	248,367
資産除去債務	81,568	81,584
その他	40,471	62,586
固定負債合計	<u>4,764,189</u>	<u>4,717,951</u>
負債合計	<u>10,941,490</u>	<u>10,572,948</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	266,400	266,400
資本剰余金	35,000	35,000
利益剰余金	2,547,110	<u>2,919,093</u>
株主資本合計	<u>2,848,510</u>	<u>3,220,493</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71,374	97,803
為替換算調整勘定	137,998	<u>105,868</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>209,372</u>	<u>203,672</u>
純資産合計	<u>3,057,883</u>	<u>3,424,166</u>
負債純資産合計	<u>13,999,374</u>	<u>13,997,114</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	7,415,434
売上原価	5,577,490
売上総利益	1,837,943
販売費及び一般管理費	1,313,711
営業利益	524,232
営業外収益	
受取保険金	55,084
助成金収入	14,586
その他	19,581
営業外収益合計	89,252
営業外費用	
支払利息	27,601
支払補償費	20,477
為替差損	23,827
その他	23,282
営業外費用合計	95,188
経常利益	518,295
特別利益	
固定資産売却益	1,034
特別利益合計	1,034
特別損失	
固定資産売却損	51
固定資産除却損	0
投資有価証券評価損	1,009
特別損失合計	1,060
税金等調整前四半期純利益	518,270
法人税、住民税及び事業税	114,478
法人税等調整額	25,203
法人税等合計	139,681
四半期純利益	378,589
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	378,589

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	<u>378,589</u>
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	26,429
為替換算調整勘定	<u>△32,129</u>
その他の包括利益合計	<u>△5,700</u>
四半期包括利益	<u>372,888</u>
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>372,888</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	518,270
減価償却費	458,045
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,311
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,473
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△31,738
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,015
為替差損益(△は益)	△17,186
受取保険金	△55,084
受取利息及び受取配当金	△3,126
支払利息	27,601
売上債権の増減額(△は増加)	676,938
たな卸資産の増減額(△は増加)	△216,381
仕入債務の増減額(△は減少)	△252,059
未払金の増減額(△は減少)	△60,570
その他流動資産の増減(△は増加)	16,761
その他流動負債の増減額(△は減少)	54,327
その他	21,459
小計	1,150,433
利息及び配当金の受取額	3,102
利息の支払額	△27,983
保険金の受取額	55,084
法人税等の支払額	△175,519
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,005,117
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△5,538
無形固定資産の取得による支出	△5,051
有形固定資産の取得による支出	△513,146
有形固定資産の売却による収入	2,382
投資活動によるキャッシュ・フロー	△521,353

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 2019年1月1日
至 2019年6月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	850,000
長期借入金の返済による支出	△1,059,472
配当金の支払額	△5,920
その他	△19,394
財務活動によるキャッシュ・フロー	△234,786
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,033
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	242,944
現金及び現金同等物の期首残高	1,650,955
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,893,899

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

会計方針の変更

一部のIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号(リース)を適用しています。当該会計基準の適用が連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	光学シート事業	機能製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,411,455	3,003,978	7,415,434	—	7,415,434
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,411,455	3,003,978	7,415,434	—	7,415,434
セグメント利益	1,105,383	83,346	1,188,730	<u>△664,498</u>	<u>524,232</u>

(注) 1 セグメント利益の「調整額」の区分は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

【訂正後】

2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月30日

上場会社名 恵和株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4251 URL https://www.keiwa.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長村 恵次
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理本部長 (氏名)石田 憲次 (TEL)03(5643)3780
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	7,415	—	523	—	518	—	375	—
2018年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 369百万円(—%) 2018年12月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2019年12月期第2四半期	円 銭 63.37	円 銭 —
2018年12月期第2四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2018年12月期第2四半期において、四半期連結財務諸表を作成していないため、2018年12月期第2四半期の数値及び2019年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2019年12月期第2四半期	百万円 13,997	百万円 3,420	% 24.4
2018年12月期	13,999	3,057	21.8

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 3,424百万円 2018年12月期 一百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2018年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 1.00	円 銭 1.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	9.21	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,209	△3.4	910	20.7	849	14.5	579	28.3	93.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年12月期 2 Q	5,920,000株	2018年12月期	5,920,000株
2019年12月期 2 Q	0株	2018年12月期	0株
2019年12月期 2 Q	5,920,000株	2018年12月期 2 Q	5,920,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当該資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。従って、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性もあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予測などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、米中貿易摩擦や中国の景気減速等により輸出や生産の一部に弱さがみられ、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況におきまして、当社グループは、積極的な高付加価値製品の販売促進活動を実施するとともに、生産性の向上にも努めました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は7,415百万円、営業利益は523百万円、経常利益は518百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は375百万円となりました。

なお、セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[光学シート事業]

米中貿易摩擦の影響は一部はあったものの、高付加価値製品のスマートフォンおよびノートブック向けの光拡散シートが堅調に推移いたしました。

その結果、売上高4,411百万円、セグメント利益1,105百万円となりました。

[機能製品事業]

製紙用産業包装資材については堅調に推移したものの、建築資材及び工程紙等産業資材の受注減となりました。

その結果、売上高3,003百万円、セグメント利益83百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

①資産、負債、純資産の状況

(資産の部)

資産合計は、現金及び預金が242百万円、投資有価証券が39百万円、それぞれ増加したものの、受取手形及び売掛金が684百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ2百万円減少し、13,997百万円となりました。

(負債の部)

負債合計は、支払手形及び買掛金が262百万円、未払法人税等が70百万円、それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ364百万円減少し、10,576百万円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、四半期純利益の計上により利益剰余金が375百万円増加、その他有価証券評価差額金が26百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ362百万円増加し、3,420百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より242百万円増加し、1,893百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、1,005百万円の増加となりました。主な増加要因としては、税金等調整前当期純利益は517百万円、減価償却費458百万円、売上債権682百万円の減少があり、主な減少要因としては、仕入債務の減少額252百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、521百万円の減少となりました。

主な減少要因としては、投資有価証券の取得による支出5百万円、和歌山工場の機械等、有形固定資産の取得による支出513百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、234百万円の減少となりました。主な増加要因としては、長期借入による収入850百万円があり、主な減少要因としては、長期借入金の返済による支出1,059百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが属する高機能フィルム業界では、IoTやAIの活用、次世代通信規格の実用化によるエレクトロニクス化の流れが需要を大きく押し上げることが期待されております。

このような経営環境の中、当社グループは、顧客志向の高機能フィルムメーカーに徹することを基本方針とし、具体的な戦略として以下の3つを掲げております。

①ニッチ市場をターゲットに

技術要求が高く差別化ができるニッチ市場をターゲットにする

②高付加価値製品へのシフト

既存製品の改良や新製品開発によって限界利益の高い製品にシフトする

③マルチドメスティックマーケティングの推進

各国ごとの市場実態に対応したきめ細かいマーケティングを行う

当連結会計年度(2019年12月期)の業績見通しにつきましては、連結売上高15,209百万円(前年同期比3.4%減)、連結経常利益849百万円(前年同期比14.5%増)を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,650,955	1,893,899
受取手形及び売掛金	3,733,549	3,048,871
商品及び製品	904,725	1,207,917
原材料及び貯蔵品	465,930	374,429
その他	569,255	<u>330,245</u>
貸倒引当金	△806	△686
流動資産合計	7,323,608	6,854,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,618,419	3,606,512
機械装置及び運搬具（純額）	1,671,068	1,889,643
土地	540,526	539,179
建設仮勘定	64,032	33,820
その他（純額）	174,137	258,878
有形固定資産合計	6,068,185	6,328,033
無形固定資産	58,342	50,770
投資その他の資産		
投資有価証券	456,907	496,051
その他	161,021	<u>328,593</u>
貸倒引当金	△68,692	△60,815
投資その他の資産合計	549,237	<u>763,829</u>
固定資産合計	6,675,765	<u>7,142,634</u>
資産合計	13,999,374	<u>13,997,310</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,512,871	3,250,509
1年内返済予定の長期借入金	1,603,136	1,471,922
未払金	506,610	534,312
未払法人税等	182,888	<u>112,493</u>
製品保証引当金	94,648	62,910
賞与引当金	—	9,235
その他	277,145	417,238
流動負債合計	<u>6,177,301</u>	<u>5,858,621</u>
固定負債		
長期借入金	4,403,671	4,325,413
退職給付に係る負債	238,478	248,367
資産除去債務	81,568	81,584
その他	40,471	62,586
固定負債合計	<u>4,764,189</u>	<u>4,717,951</u>
負債合計	<u>10,941,490</u>	<u>10,576,572</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	266,400	266,400
資本剰余金	35,000	35,000
利益剰余金	2,547,110	<u>2,915,685</u>
株主資本合計	<u>2,848,510</u>	<u>3,217,085</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71,374	97,803
為替換算調整勘定	137,998	<u>105,848</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>209,372</u>	<u>203,652</u>
純資産合計	<u>3,057,883</u>	<u>3,420,738</u>
負債純資産合計	<u>13,999,374</u>	<u>13,997,310</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	7,415,434
売上原価	5,577,490
売上総利益	1,837,943
販売費及び一般管理費	1,313,988
営業利益	523,955
営業外収益	
受取保険金	55,084
助成金収入	14,586
その他	19,581
営業外収益合計	89,252
営業外費用	
支払利息	27,601
支払補償費	20,477
為替差損	23,827
その他	23,282
営業外費用合計	95,188
経常利益	518,018
特別利益	
固定資産売却益	1,034
特別利益合計	1,034
特別損失	
固定資産売却損	51
固定資産除却損	0
投資有価証券評価損	1,009
特別損失合計	1,060
税金等調整前四半期純利益	517,993
法人税、住民税及び事業税	117,805
法人税等調整額	25,007
法人税等合計	142,812
四半期純利益	375,181
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	375,181

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	<u>375,181</u>
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	26,429
為替換算調整勘定	<u>△32,149</u>
その他の包括利益合計	<u>△5,720</u>
四半期包括利益	<u>369,460</u>
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>369,460</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	517,993
減価償却費	458,045
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,311
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,473
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△31,738
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,015
為替差損益(△は益)	△17,186
受取保険金	△55,084
受取利息及び受取配当金	△3,126
支払利息	27,601
売上債権の増減額(△は増加)	682,933
たな卸資産の増減額(△は増加)	△216,381
仕入債務の増減額(△は減少)	△252,059
未払金の増減額(△は減少)	△60,570
<u>その他の増減</u>	<u>86,830</u>
小計	1,150,433
利息及び配当金の受取額	3,102
利息の支払額	△27,983
保険金の受取額	55,084
法人税等の支払額	△175,519
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,005,117
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△5,538
無形固定資産の取得による支出	△5,051
有形固定資産の取得による支出	△513,146
有形固定資産の売却による収入	2,382
投資活動によるキャッシュ・フロー	△521,353

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 2019年1月1日
至 2019年6月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	850,000
長期借入金の返済による支出	△1,059,472
配当金の支払額	△5,920
その他	△19,394
財務活動によるキャッシュ・フロー	△234,786
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,033
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	242,944
現金及び現金同等物の期首残高	1,650,955
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,893,899

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

会計方針の変更

一部のIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号(リース)を適用しています。当該会計基準の適用が連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	光学シート事業	機能製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,411,455	3,003,978	7,415,434	—	7,415,434
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,411,455	3,003,978	7,415,434	—	7,415,434
セグメント利益	1,105,383	83,346	1,188,730	<u>△664,775</u>	<u>523,955</u>

(注) 1 セグメント利益の「調整額」の区分は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

以上